

ここだけの話ですが

指から出てきた液体

年号が昭和から
平成にかわった
夏の夜に不思議な
事が起きたのです

これは昨年
亡くなった
祖母から聞いた
話です

たぐちえつお

男は生きていても
仕方がないと悲観して
自殺を考えていた



しかし自殺
するほど

勇気も
無かった



突然女の
ささやく声が
聞こえてきたの
です



それは白い
大きな手だった
のです

声のする方へ
振り向くと



また女の声がして
「あなたに新しい
命を与えよう」

「ただし
くだらない
人生を送ったら
あなたの大事なモノを
いただくからね」

男は悪い夢を
見ているのだと
思った

早く悪夢から
さめてほしいと
願った……が

さめなかった

指から謎の
液体が出てきて
男の頭上に
垂らした



液体は体
全体を包み
込んだ後……



中からおっさん
じゃなく別人が
現れた



これが
あなたの
新しい体よ

さあ人生を
楽しんで
来なさい



男は50代から
20代に生まれ
変わった



これが
今の俺か

これだったらまた昔の
仕事が出来そうだけ



なぜ自分が
若くなつたのか
疑問さえ持たなかつた



それよりも若い体を得て
泥棒家業が出来るのが
嬉しかった



この屋敷の住人は
不思議なモノを
集めるのが
趣味だった

俺は数年前
この屋敷のお宝を
盗もうとしたが
年のせい
感が鈍く
なっていて
失敗した

だが今の俺には
可能だぜ

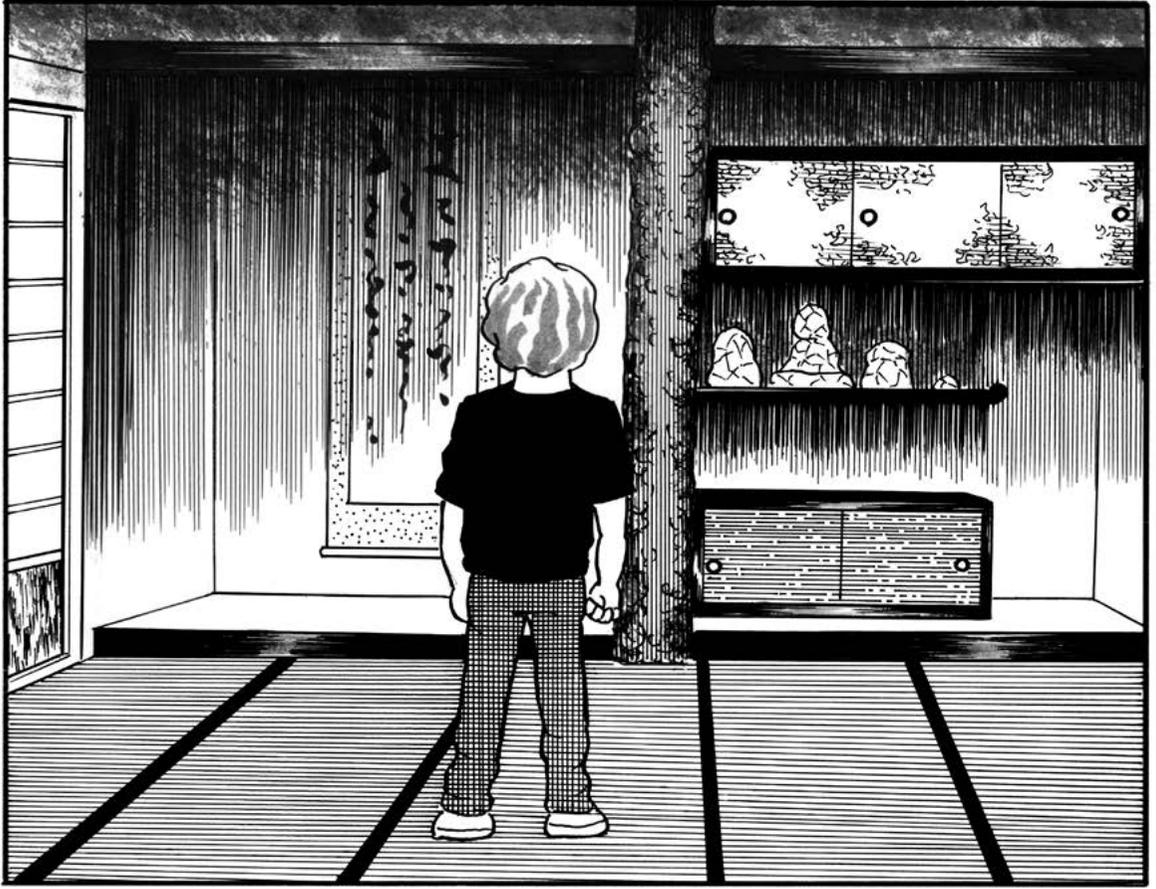
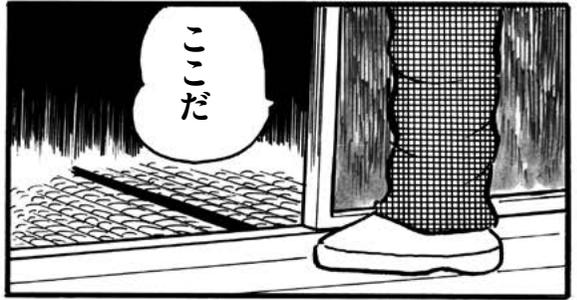
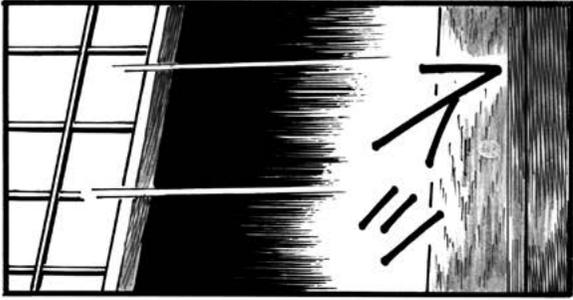


一度、入った
屋敷だ
簡単だぜ



お宝は右を
曲がった奥のハズ





それは世界でも
珍しい石だった



俺の探してた
モノがあった



あれだ



今夜はこの石
だけにするが
近い内に必ず
全ていただきに
来るぜ



これは一千万円
ぐらいの価値が
あるとらんだ



また女の声か
聞こえて
きたのだ



男はいやな
予感を感じた



大事なモノを
いただくと
それを今夜
いただくよ

ああ〜

以前言ったよね
くだらない人生
送るなら

せっかく新しい生を
与えたのにバカだよ
あんたは



指先から
謎の液体が出て
男の体を包み
込んだ



液体で固まった
男の体にヒビが
入り



床の間に
移動した



白い手は
見る見る
小さくなり



それはとても
色鮮やかな
光沢を放っていた



中から
真っ赤な石が
出てきた

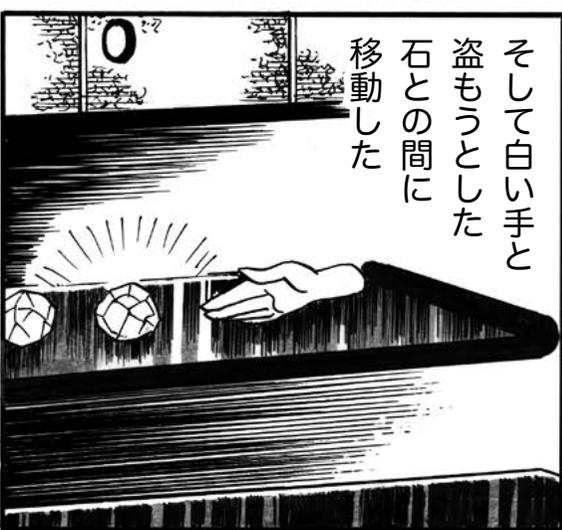


石は宙を
フワフワ浮き
床の間の方へ
行ったのです



変だな
また石が
増える

こんな話
ある訳ない
ですから(作者)



そして白い手と
盗もうとした
石との間に
移動した

ここだけの話ですが「指から出てきた液体」おわり